



さくら道で逢いましょうー。4年前の約束をやっと果たすことが出来ました。

たった250km、されど4年の月日と、春夏秋冬2万キロを超える練習と、世界大会の経験、エイドボランティアを経て、やっとなんて会えることが出来ました。

4年前の春ーランを始めて1年目、雪降る20回大会に選考していただきました。124k地点でリタイア。逆走応援してくれていた友人が撮った雪の白川郷付近、なんで這ってでも逢いに行かなかったのだろう。辛い時、諦めそうになった時はいつも、雪の道が浮かびます。二度と同じ思いはしたくないー。

「完走証は初めてで貰うより、ずっとずっと価値があるから頑張る」、リタイア部屋で知り合った先輩ランナー達は、経験談を交えて優しく励ましてくださいました。

翌年、通称落ち武者エイドと呼ばれる五箇山で、ボランティアをさせていただける事になりました。大会の数日前、仕事に様々なメッセージが飛び交います。誰か海外選手向けのメニューを翻訳して、〇〇選手が来るからあれを買おう、配車はどうする、その他必要な物の相談など。選手の時には気が付きませんでした。700人を超えるスタッフやボランティアが、スタートのずっと前から共に走っていたのです。

大会前日、有休を取って名古屋に入り選手にエールを送ります。当日スタートを見送り、急きょ人手が足りないと前半のエイドで飲み物を配ります。そこから親子三代の名物エイドを設営し、荘川桜エイドに移動、強風の中でテントや配線を一から設営します。

五箇山エイドに移動して、チーム石川の方々と合流。素麺は温かいものと冷たいの、サンドイッチ、おにぎりは一口サイズ、韓国の選手も来るためキムチなどを乗せます。カレーは選手の好みに合わせて辛口・甘口の二種類を作ります。選手のための寝る場所、毛布やストーブも準備してスタンバイ。寝ずのサポートで選手を送り出します。

場所を提供して下さる五箇山タクシーさんとお話しをすることが出来ました。選手が夜に通る時、田んぼに桜が映って綺麗だからと、ライトアップをしたり、早めに水を引いて準備をしてくれていました。こんなにも選手の完走を願い、心待ちにしてくれる方々がいる・・・なのにリタイアしてしまった自分が本当に情けなく申し訳なく、涙が出ました。次回は絶対全てのエイドに辿り着くことを心に誓いました。

五箇山の関門時間が過ぎると急いで撤収、ゴールに移動して選手を迎えます。その後すぐに今年の反省会、来年は、人で不足で開設出来なかった全てのエイドを開設したいという熱い意見が飛び交います。終バスに飛び乗り、早朝東京に着いて出勤。疲労困憊ながらも、選手達は今頃植樹をしている頃かなあ、なんて思いながら仕事をしていました。

今年のさくら道では、選手やエイドボランティアや応援など、沢山の友人に再会する事が出来ました。お陰様で無事に走り切る事が出来ました、ありがとうございました。

私のさくら道は4年の時を経て価値あるものになり、沢山の事を教えてくれました。いつかはさくら道、エイド仲間がいる五箇山、逆走してくれる友人・・・桜道で逢いましょう、そう思いながら過ごした日々はかけがえもなく愛おしく、この経験があったからこそ頑張れた4年間でした。失敗する、不足を工夫する、諦めずに待つ・・・ゆっくり時間をかけて追い求めることで、人生を充実させたり、価値を高められる事をさくら道が教えてくれました。

また来春、さくら道で逢いましょうー 青谷 瑞紀

